

数学演習第二・期末統一試験【問題用紙】

2020年1月29日実施・試験時間90分

— 解答用紙には答えのみを記入せよ —

1 関数 $g(x, y) = x^2 + 2xy + 2y^3 - 1$ について、次の問いに答えよ。

(1) $g(a, b) = 0$ を満たす点 (a, b) のまわりで、 $g(x, y) = 0$ が $y = \varphi(x)$ の形の陰関数をもつことを保証する条件を「 (a, b) の多項式 $\neq 0$ 」という形式で書け。(このとき $\varphi(x)$ は $x = a$ のまわりで C^∞ 級となる.)

(2) 点 (a, b) が (1) の条件を満たすとき、 $\varphi'(a)$ を a, b の式で表せ。

(3) $(a, b) = (1, 0)$ のとき、 $\varphi(x)$ の $x = 1$ における漸近展開

$$\varphi(x) = c_0 + c_1(x-1) + c_2(x-1)^2 + o((x-1)^2) \quad (x \rightarrow 1)$$

の係数 c_0, c_1, c_2 を求めよ。

(4) 条件 $g(x, y) = 0$ の下で関数 $f(x, y) = y$ は極値をとるか? 「点 (a, b) で極大値 c をとる」または「点 (a, b) で極小値 c をとる」または「極値をとらない」という形式で答えよ。(複数個の点で極値をとるならそのうちの1つを書け.)

2 次の重積分を計算せよ。

(5) $\iint_D y \, dx dy, \quad D: x \geq 0, y \geq 0, x + y \leq 1.$

(6) $\iint_D x e^{y^2} \, dx dy, \quad D: x^2 \leq y \leq 1, x \geq 0.$

(7) $\iint_D (x-y)^2 \, dx dy, \quad D: x^2 + y^2 \leq 1, x \geq 0, y \geq 0.$

(8) $\iint_D x \log(x+y) \, dx dy, \quad D: 1 \leq x+y \leq 2, -1 \leq x-y \leq 1.$

3 (9) 累次積分 $I = \int_0^1 dy \int_{\sqrt{y}}^{2-y} f(x, y) \, dx$ の積分順序を交換すると、

$$I = \int_0^{\text{①}} dx \int_{\text{②}}^{\text{③}} f(x, y) \, dy + \int_{\text{④}}^{\text{⑤}} dx \int_{\text{⑥}}^{\text{⑦}} f(x, y) \, dy$$

となる。このとき、① から ⑥ に入るべき適切な数値または数式を答えよ。

4 (10) 重積分

$$J = \iint_D \sqrt{x^2 + y^2} \, dx dy, \quad D: x^2 + y^2 \leq x, 0 \leq \sqrt{3}y \leq x$$

を考える。 D は極座標変換 $x = r \cos \theta, y = r \sin \theta$ により、

$$E: 0 \leq r \leq \text{①}, 0 \leq \theta \leq \text{②}$$

に移されるので、

$$J = \iint_E \text{③} \, dr d\theta = \text{④} \quad (\text{③ は } r, \theta \text{ の関数})$$

となる。このとき、① から ④ に入るべき適切な数値または数式を答えよ。

5 行列 $A = \begin{bmatrix} 2 & 1 & -2 & -6 \\ 1 & 2 & 2 & -1 \\ -1 & 1 & 4 & -5 \\ 1 & 1 & 0 & 1 \end{bmatrix}$ の定める \mathbb{R}^4 の線形変換 $f(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$ ($\mathbf{x} \in \mathbb{R}^4$) を考える.

(11) f の核 $\text{Ker } f$ の基底を求めよ.

(12) f の像 $\text{Im } f$ の次元を求めよ.

6 \mathbb{R}^3 の基底 $\mathcal{A} = (\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3)$ を $\mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ 2 \end{bmatrix}$, $\mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} 2 \\ -1 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\mathbf{a}_3 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 3 \end{bmatrix}$ で与える. また,

\mathbb{R}^3 の標準基底を \mathcal{E}_3 とし, \mathbb{R}^2 の標準基底を \mathcal{E}_2 とする.

(13) \mathbb{R}^3 の基底 \mathcal{A} から \mathcal{E}_3 への基底変換行列を求めよ.

(14) 線形写像 $g: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^2$ が $g(\mathbf{a}_1) = \begin{bmatrix} 7 \\ 0 \end{bmatrix}$, $g(\mathbf{a}_2) = \begin{bmatrix} 2 \\ 2 \end{bmatrix}$, $g(\mathbf{a}_3) = \begin{bmatrix} 9 \\ -2 \end{bmatrix}$ を満たすとき, $g: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^2$ の基底 $(\mathcal{E}_3, \mathcal{E}_2)$ に関する表現行列を求めよ.

7 \mathbb{R}^3 の部分空間 V と, V の基底 \mathcal{B} が

$$V = \left\{ \mathbf{x} = \begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3 \mid x_1 + x_2 + x_3 = 0 \right\}, \quad \mathcal{B} = \left(\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ -2 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ -3 \end{bmatrix} \right)$$

で与えられるとき, 次の問いに答えよ.

(15) V のベクトル $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 1 \\ -1 \\ 0 \end{bmatrix}$ の基底 \mathcal{B} に関する座標 $[\mathbf{a}]_{\mathcal{B}}$ を求めよ.

(16) 行列 $M = \begin{bmatrix} 2 & -1 & 0 \\ -1 & 2 & -1 \\ 1 & \alpha & \beta \end{bmatrix}$ の定める \mathbb{R}^3 の線形変換 $h(\mathbf{x}) = M\mathbf{x}$ ($\mathbf{x} \in \mathbb{R}^3$) に対し

て $h(V) \subset V$ が成り立つように α, β の値を定めよ.

(17) α, β が (16) の値のとき, $\tilde{h}(\mathbf{x}) = M\mathbf{x}$ ($\mathbf{x} \in V$) により V の線形変換 $\tilde{h}: V \rightarrow V$ が定まる. このとき, V の線形変換 \tilde{h} の基底 \mathcal{B} に関する表現行列を求めよ.

8 行列 $B = \begin{bmatrix} 1 & -1 & 1 \\ 2 & 4 & -2 \\ 2 & 2 & 0 \end{bmatrix}$ について, 次の問いに答えよ. ただし, (19), (20) では, 基底を

なすベクトルはすべての成分が整数となるように選ぶこと.

(18) 行列 B の固有値をすべて求めよ.

(19) B の最大固有値に対する固有空間の基底を求めよ.

(20) B の逆行列 B^{-1} の最大固有値に対する固有空間の基底を求めよ.